

2-1

Ver.9.0 新機能

CADPAC-CIVIL Ver.9.0 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.8.5からの差分です)
[****/****]は、該当のオンラインヘルプです。

I . 2次元汎用機能

1. 前回コマンド

前回コマンドは、直前に使用したコマンドを順次さかのぼって選択できるコマンドです。

マウスアクションによる選択、アイコンツールバーからの選択、およびキーボードから選択する方法があります。

[基本操作 1/ 前回コマンド]

マウスアクションで表示される前回コマンドメニュー ▶

前回コマンドツールバー ▼



2. IMGPrinter

Windows7 に対応しました。

[ファイル / IMGPrinter - PDF・TIFF・XCDF 出力]

3. 外部入力

ファイル選択ダイアログボックスから複数のファイルを選択し、一括で入力処理できるようになりました。

[ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]

[ファイル / 外部入力 / BMI 入力]

[ファイル / 外部入力 / IGES 入力]

[ファイル / 外部入力 / JW_CAD 入力]

[ファイル / 外部入力 / CADSUPER 入力]

[ファイル / 外部入力 / ME10 入力]

4. DWG/DXF 入出力

AutoCAD2010 に対応しました。

[ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]

[ファイル / 外部出力 / DWG・DXF 出力]

5. DWG/DXF 入出力

寸法の互換性が向上しました。

[ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]

[ファイル / 外部出力 / DWG・DXF 出力]

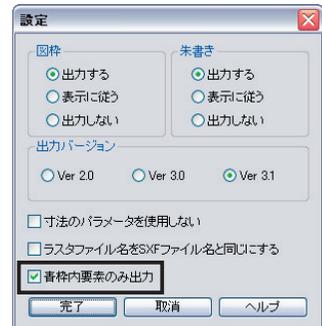
6. SXF 出力

図面上の青枠の外に存在する要素を除外して出力できるようになりました。変換条件設定ダイアログの項目「青枠内要素のみ出力」にチェックを入れると機能が有効になります。

また、出力範囲を枠選択で指定することも可能です。ファイル選択ダイアログボックス「出力範囲を指定」を有効

にすると機能が有効になります。

[ファイル / 外部出力 / SXF 出力]

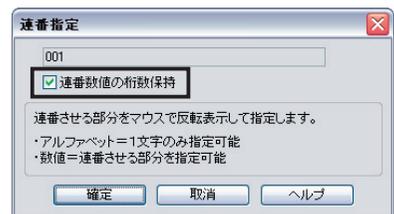


7. 文字

「001」のように先頭にゼロを含む数値を [0. 連番] 機能で更新した場合、桁数を保持したまま「002、003、…」のように文字列を作図できるようになりました。

機能を有効にするには、CSB から [0. 連番] を選択すると開く連番指定ダイアログボックスのチェック項目「連番数値の桁数保持」を有効にして [確定] ボタンをクリックしてください。

[作図 / 文字記入 / 文字]



8. 切取複写

切取複写した直後に [BS] キーを押すと、複写した要素を削除し元の状態に戻ることができるようになりました。このとき、再度 [BS] キーを押すと選択CSBに戻ります。

[編集 / 複写 / 切取複写]

9. 補助線消去

補助線以外の箇所をマウス右クリックすると、図面上全ての補助線を消去することができるようになりました。

[編集 / 消去 / 補助線消去]

10. 順位変更

選択対象をZレベルの数値で条件付けできるようになりました。

従来どおり対象要素を枠選択で指定すると、右のZレベル指定ダイアログボックスが開きますので選択状態にしたいZレベル値を選択します。

[構成 / 塗潰し図形 / 順位変更]



11. 要素

塗潰し要素と隠線要素のZレベルが確認できるようになりました。

[補助 / 計測 / 要素]



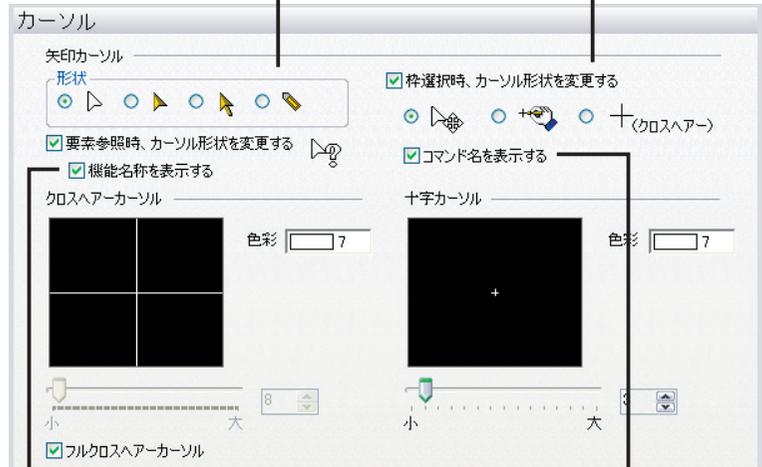
12. システム設定・カーソル

矢印カーソルの機能（ビジュアルマウス）、およびクロスヘアカーソルと十字カーソルのサイズと色彩を設定できます。

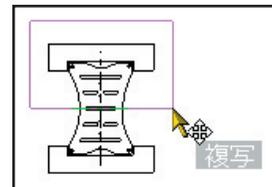
[補助 / システム設定 / カーソル]

矢印カーソルの形状を変更できます。

枠選択時のカーソルの形状を変更
できます。



機能モード名が表示されます。



実行されているコマンド名が
表示されます。